

令和8年度 義務教育学校福移学園 「学ぶ力」 育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：23008
33004

「学ぶ力」	
これまでの成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> ◇個人差や学年差は大きいものの、令和7年度の全国学力・学習状況調査では、国語、算数・数学ともに全国平均と同程度もしくは下回る結果となった。質問紙調査では、学習に対しての前向きな姿勢がうかがえる回答が多かった。 ◇札幌市の共通指標の、「20 疑問や課題を解決するために、自分で方法を考えるようにしている」と「21 分からないことはそのままにせず、分かるまで努力するようにしている」は、昨年に引き続き肯定的な回答の割合は高い。 ◇課題探究的な学習を中心とした校内研究を行い、1人1台端末を活用しながら調べたことや考えたことをまとめたり発信したりする活動を充実させることで、主体的に学習を進める姿が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇令和7年度の全国学力・学習状況調査では、6年国語「読むこと」、9年国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」、6年算数「測定」「変化と関係」について全国平均を下回る結果となった。 ◇札幌市の共通指標から、「6 自分が思っていることや感じていることを人に伝えている」「7 自分の意見を進んで発言しようとしている」について、他の項目より肯定的回答の割合が昨年度に引き続き低い。 ◇「181日の時間の使い方を自分で考えて生活している」や「19自分で計画を立てて勉強している。」について肯定的回答の割合が低い傾向が見られる。
「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の感度〉の現状と課題	
<p>◇札幌市の共通指標から、「3 自分が必要とされていると感じる」ことにおいて、肯定的な回答の割合が増加(63.2%→77.4%)した。一方で、「6 自分が思っていることや感じていることを人に伝えている。」「7 自分の意見を進んで発言しようとしている。」の項目の肯定的な回答の割合が低い。また、「人の意見を聞いてそれを参考にして自分の考えを見直すことがある」ことにおいては、肯定的な回答の割合が高い。意見の違う人をはじめ、多様な他者と関わる中で、自分の思ったことを自信をもって発信しながら協働を充実させていくための支援を行う必要がある。</p>	

「学ぶ力」の育成のためのテーマ

つながる楽しさを実感し 進んで発信し 深め合う子どもの育成

	AARサイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自主的な活動の充実
取組	<ul style="list-style-type: none"> ◇生活科・総合的な学習の時間を教育課程の中核に据え、学年や発達段階に応じて、段階的に課題探究的な学習を推進していく。 ◇総合的な学習の時間で行う課題探究学習で、各教科で身に付けた「6つの資質・能力」や知識・技能を、統合・発揮するよう、教科内や教科間の学習のつながりを整理する。 ◇学習を進めるための土台となる、よりよい人間関係づくりや話し合いの方法など、多様な他者と関わるための支援を充実させる 	<ul style="list-style-type: none"> ◇よりよい学校生活の実現に向けて、学年や学校全体の課題の解決を目的とした学級活動での話し合いを充実させる。 ◇各活動において、振り返りの場と時間を保障する。 ◇委員会活動では、前期課程と後期課程が別々に活動する時間と、全体で活動する時間を設け、組織立てた自主的な活動を促進する。また、全校朝会において各委員会からの発信の場を設定する。 ◇レインボー活動を中心とした異学年交流において、縦割りグループごとに役割を分担して企画・運営を行う。
	<p>身に付けたい 6つの資質・能力 「情報収集力」「分析・考察力」「発信力」 「主体性」「協働性」「創造性」</p>	

〈本プログラムの実行に向けて〉

